

2026年度 貸与奨学生募集要項

2026年4月1日現在、大学に在学している者のうち、学術優秀、品行方正、心身健康で、経済的理由により学資の支弁が困難と認められる学生に対し、下記のとおり、2026年度の貸与奨学生を募集いたします。

記

1. 募集指定校・募集対象学年（各校への推薦依頼人数は推薦依頼に記載）

当会が以下に指定する大学に在籍する学部生とし、指定大学から推薦がある者とする。また、日本国籍を有する者とする。なお、大学院生は除く。

指定する 16大学	北海道大学、北見工業大学、室蘭工業大学、秋田大学、東北大学、 東京大学、東京科学大学 東京農工大学、東京都立大学、早稲田大学、 慶應義塾大学、明治大学、京都大学、九州大学、九州工業大学、 熊本大学
対象学年	学部の1年次～4年次（医学部・薬学部等は6年次まで）

2. 奨学金の貸与について

以下の奨学金は無利息での貸付けとする。

奨学生に採用された場合は、連帯保証人と連署の「誓約書」の提出を必要とする。

項目	内容ほか
貸与金額 (選択制)	月額30,000円（年間360,000円）
	月額15,000円（年間180,000円）
※ 貸与額例	月額30,000円の場合：4年間貸与合計 1,440,000円 月額15,000円の場合：4年間貸与合計 720,000円
入学準備金	60,000円（大学新入学の者に限り、希望する場合に貸与）
貸与金 支払月日	原則として毎年度（4月～3月）、4月・7月・10月・翌年1月の各々21日に 3ヶ月分を前払いし、貸与期間最終年度の1月21日の最終回まで貸与する。 （21日が土日祝祭日等で金融機関が休みの場合は繰上げて振込） 貸与金額は各人指定の金融機関口座に振込とする。 但し、採用初年度は2026年7月21日(火)に第1回目として6ヶ月分を貸 与する。
貸与期間	大学の正規の最短修業年限とする。（1年生は4年間もしくは6年間） なお、修学の中から貸与する場合は、残りの正規修業期間とする。
年収制限	学資負担者（家計支持者）の <u>年間収入は1,400万円未満</u> とする。 ※ <u>年間収入と所得金額は異なり、自営業者の場合も年収制限とする。</u> ※ 年間収入は世帯年収ではなく、学資負担者(家計支持者)の年収である。 ※ 学資負担者とは通常、父親または母親等で年収の高い <u>1人</u> をいう。

3. 奨学金の返還について

奨学金の返還は無利子とする。

貸与奨学金を借用していた者は、貸与終了後に「奨学金借用証書」を提出の上、約定に従い借用していた奨学金を返還する。

なお、貸与奨学金は、貸与されていた者自身が「借りたもの」であることを自覚すること。

項目	内容ほか
返還開始の時期	貸与奨学金の貸与が終了したときから、6ヶ月間据置きのと、貸与期間の2倍の期間を限度として貸与奨学金を返還するものとする。
返還方法 ※詳細はホームページ掲載の「返還のしおり」を参照	返還は、①月賦（毎月定額返還）、②半年賦（半年分をまとめて12月・7月に返還）、③年賦（1ヶ年分をまとめて10月～3月に返還）、④一括（全額を一括で返還）の4方法のいずれかで行う。 通常は、3月に貸与期間が終了するので、10月からの返還開始となる。 返還方法は原則「ゆうちょ銀行自動払込手続き（口座自動引落）」とする。 なお、一括返還を希望する場合は、当会みずほ銀行口座への振込の手続きとする。

※ 返還例（借用奨学金が毎月30,000円の場合）

単位：円

借用金額	含入学準備金	準備金なし	含入学準備金	準備金なし			
	2,220,000	2,160,000	1,500,000	1,440,000	1,080,000	720,000	360,000
借用期間	借用6年	借用6年	借用4年	借用4年	借用3年	借用2年	借用1年
返還期間	返還12年	返還12年	返還8年	返還8年	返還6年	返還4年	返還2年
返還金額	月賦	16,000	15,000	16,000	15,000	15,000	15,000
	半年賦	96,000	90,000	96,000	90,000	90,000	90,000
	年賦	192,000	180,000	192,000	180,000	180,000	180,000
	一括	2,220,000	2,160,000	1,500,000	1,440,000	1,080,000	720,000

4. 連帯保証人について

連帯保証人は、本人と連帯して借用奨学金の弁済（返還）の義務を負うものである。

したがって、連帯保証人は父母・兄弟姉妹等から弁済能力がある者を選定し、かつ心身が健康な者に限る。（応募時の連帯保証人は通常、学資負担者もしくは家計支持者が相当すると思料される）

なお、当会の奨学生に採用された場合には、「誓約書」の提出とともに誓約書へ連帯保証人の「実印」押印と「印鑑登録証明書」の提出を必要とする。

また、願書提出時と誓約書提出時で連帯保証人が異なる場合には、あらためて本人と連帯保証人との関係を証明する公的書類および連帯保証人の年収を証明する公的書類（写）と印鑑登録証明書の提出を必要とする。これは、貸与期間中の連帯保証人の変更、貸与期間満了時の借用証書へ署名する連帯保証人、および返還期間中の連帯保証人の変更についても同様とする。

5. 募集日程

(1) 募集開始：2026年3月2日（月）

(2) 募集締切：2026年5月14日（木） 当会必着

※締切を延長希望される場合には事前に連絡願います

(3) 採否決定：2026年6月中旬を予定

6. 応募時の提出書類（当会指定 Excel 様式に入力すること・・・記入例を参考に）

- (1) 奨学金貸与願書（様式1号・Excel様式）
※ 担当部署から郵送前に必ず願書データをメールにて送信すること
 - (2) 本人の履歴書（様式1号-2・Excel様式）・・・写真貼付（データ貼付可）
 - (3) 本人の家族状況調書（様式1号-3・Excel様式）
 - (4) 本人と連帯保証人との関係が証明される住民票謄本または戸籍謄本（原本）
※ 住民票謄本の提出の場合は本籍地記載のもの
※ 家族全員記載のもの、コピー不可
 - (5) 振込先口座の通帳見開き全体の写し（銀行番号・店名・口座番号の記載あるページ）
※ 担当部署から郵送前に必ずメールにて写しを送信すること（PDFで可）
※ ゆうちょ銀行は「他金融機関からの振込の受取口座として利用」出来る店名・店番・口座番号が記載あるページ
※ 通帳を発行していない場合、通帳に替わる書面を提出
 - (6) 連帯保証人（学資負担者・家計支持者）の年収の証明書写し
願書提出時は通常、連帯保証人と学資負担者・家計支持者が同一になると思料される。なお、貸与の要件は、学資負担者の年間収入が1,400万円未満とする。
※ 年収と所得とは異なることに注意（当会の基準は年間収入）
※ 複数箇所から収入を得ている場合はその全て提出する
※ 通常、法人等勤務者等は源泉徴収票、自営業者等は確定申告書となる
- ① 給与所得者・・・源泉徴収票のコピー
 - ② 給与所得者以外・・・確定申告書等の年収金額記載書のコピー（税込み）
確定申告書（第一表と第二表）（控）の写し（税務署の証明があるもの）。
*税務署の証明とは、税務署の受付印・受信又は通知の日時の印字等があるものをいう。（税務署に提出したことを証明できるものとして）
- (7) 新入学生は在学証明書、在学学生は成績証明書・在学証明書
（学年の印字がない場合は氏名横に鉛筆で学年を記載すること）

7. 応募・連絡先（応募書類等は在学校の奨学金担当部署経由で提出）

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-4 齊藤ビルディング4A
公益財団法人 日鉄鉱業奨学会
TEL : 03-3359-5455 ・ FAX : 03-3359-5456
E-mail : shougakukai@nittetsukou-shougakukai.jp
URL : <https://www.nittetsukou-shougakukai.jp>

8. 添付資料 ・2026年度奨学金貸与願書（様式1号・Excel様式）
・履歴書（様式1号-2・Excel様式）
・家族状況調書（様式1号-3・Excel様式）
※その他に当会ホームページ掲載の「奨学規程」を参照下さい

以上

2026年度 奨学金貸与願書

(西暦) 2026 年 4 月 15 日

公益財団法人日鉄鉱業奨学会 御中

(当会記入:)

本人: 奨学 太郎

連帯保証人: 奨学 一徹

2026年度の貴会の貸与奨学生として奨学金の貸与を受けたく、必要書類を添えて、お願いいたします。貸与奨学生として採用されましたら、貴会の奨学規程に従い、貸与奨学生としての責務をはたすとともに、奨学金の返還については連帯保証人と連帯し誠実にその義務を履行いたします。

Table with columns: 借入月額(円), 入学準備金(円), 借入総額(円), 借用期間 (西暦 2026年4月から 2030年3月まで)

注) 以下は記載日現在で入力記入し(学年は2026年4月1日現在)、自宅以外の場合は必ず帰省先住所を記入すること。

「フリガナ」・「郵便番号」・「電話番号」・「銀行番号」・「支店番号」・「口座番号」は必ず半角で入力すること。

Personal information form for the applicant, including name (奨学 太郎), birth date (2007年11月12日), school (奨学会経済大学), address (東京都新宿区四谷4-1-3), and contact information.

注) 以下のうち単身赴任等の場合は必ず自宅等の帰省先住所を記入すること。また、郵便物送付先に○をすること。

Personal information form for the guarantor, including name (奨学 一徹), birth date (1968年12月12日), occupation (奨学商事), and address (東京都三鷹市).

注1: [] に全て入力すること。

注2: 特記事項、提出書類、提出先・問合せ先については次ページを参照のこと。

Table with columns: 当会使用欄, 会計開始年月 (2026/07), 奨学金種別 (02: 貸与), 採用区分 (01: 公募)

Table with columns: 責任者確認印, 担当者確認印

◎ 特記事項

1. 連帯保証人は、本人と連帯して弁済の義務を負うものであり、父母・兄弟姉妹等から選定すること、かつ心身が健康な者に限り、借用奨学金の返済能力のある者とする。
2. 貸与奨学生として採用され「誓約書」の提出の際は、連帯保証人は実印の押印と「印鑑登録証明書」の提出が必要となる。
また、本願書記載の連帯保証人が誓約書提出時に異なる場合には、本人と連帯保証人との関係を証明する公的書類および年収の公的証明書（写）の提出を必要とする。（源泉徴収票等の写しも可）
3. 本人の現住所は大学入学後の住所とし、都道府県名、番地はもちろん、建物名まで詳細に記入すること。
なお、願書提出時に住居地等が未定の者は決定次第、速やかに当会へ連絡すること。
4. 貸与奨学生に採用された場合は、当会の奨学規程を遵守することはもちろんのこと、当会への書類提出等の指示に必ず応ずるものとし、それらが守られない場合には採用を取り消す場合がある。
また、その場合に借用していた奨学金は、滞滞なく返済しなければならない。
5. その他
 - (1) 現住所は、都道府県名、番地はもちろん、建物名まで詳細かつ正確に記入すること。
なお、願書提出後に住居地が変更となった場合には、速やかに当会へ連絡すること。
 - (2) 住所変更の場合、郵便物が確実に届くよう必ず郵便局へ転居届・郵便物転送届の手続きを行うこと。
（e 転居など）

◎ 応募時の提出書類

1. 奨学金貸与願書（様式1号）・・・Excel様式に入力（手書き不要）
2. 振込先口座の通帳の見開きページ写し（口座名義・銀行番号・店名・店番・口座番号記載ある見開きページ）
但し、通帳を発行していない場合は、通帳に替わる書面を提出
3. 本人の履歴書（様式1号-2）・・・Excel様式に入力し写真貼付（写真データ貼付可、手書き不要）
4. 本人の家族状況調書（様式1号-3）・・・Excel様式に入力（手書き不要）
5. 本人と連帯保証人との関係を証明する住民票謄本または戸籍謄本（原本）
※ 住民票謄本の提出の場合は本籍地記載あるもの
※ 家族全員記載のもの、コピー不可
6. 連帯保証人の年収の公的証明書（写）
※ 貸与の要件は、学資負担者（家計支持者）の年間収入が1,400万円未満とする。
※ 年収と所得とは異なることに注意（当会の基準は年間収入）
※ 学資負担者とは通常、父親または母親等で年収の高い1人をいう。（その他の場合もあり得る）
 - (1) 給与所得者・・・源泉徴収票のコピー
 - (2) 給与所得者以外・・・収入金額の記載ある確定申告書等のコピー（税込み）
確定申告書（第一表と第二表）（控）の写し（税務署の証明があるもの）
* 税務署の証明とは、税務署の受付印・受信又は通知の日時の印字等があるものをいう。
（税務署に提出したことを証明できるものとして）
7. 新入生は在学証明書、在學生は成績証明書・在学証明書
（学年の印字がない場合は氏名横に鉛筆で学年を記載すること）

◎ 応募書類の提出先、問い合わせ等

1. 応募書類等は、各学校の担当部署へ提出すること。
当会は、各学校へ推薦依頼を行っているため、個人からの直接の提出は受付けていない。
2. 応募書類準備に関して不明な点がある場合は、各学校の担当部署へ問合せすること。

- ◎ 応募者は、応募書類等を提出する前にコピーして本人控えとして保管すること。

履 歴 書

(西暦) 2026 年 4 月 15 日 現在



フリガナ	ショウガク タロウ			
氏 名	奨学 太郎			
西 暦	2007	年	11	月 12 日生 (満 18 才)
(和 暦	H19	年)		

在学名(学部・学科・研究科・専攻等を全て記入) 学年: 1 年生 (入学年:西暦 2025 年)

私立奨学経済大学経済学部国際経済学科

現住所 (建物名・ 号数を 2段目以 下に記入)	〒 160 - 0004	固定電話
	トウキョウトシンジュクヨツヤ	なし
	東京都新宿四谷3-1-4 齊藤ビルディング 4A	携帯電話 070-5678-1234
メールアドレス	t.sinjuku107@shougaku.jp	
帰省先 等の連 絡先住 所・電話 番号	(アパート・下宿・寮等に居住の場合) 〒 987 - 6543	電話番号
	〇〇県△△市□□町456番地14	0123-45-6789
	ショウガクコーポ104号室	

西 暦 年	月	学 歴 等 (学歴・職業・免許・賞罰等を各項目別にまとめて記入)
		学 歴
2023	3	△△市立奨学中学 卒業
2023	4	〇〇県立奨学高等学校 入学
2026	3	〇〇県立奨学高等学校 卒業
2026	4	私立奨学経済大学経済学部国際経済学科 入学
		現在に至る
		職 歴
2026	4	奨学新聞新宿四谷販売所 新聞配達アルバイト
		免 許 ・ 資 格
2026	3	普通自動車第一種運転免許(AT限定)取得
		賞 罰
		なし
		以上

家 族 状 況 調 書

2026年4月15日 現在

続柄	氏名	生年月日 (和暦・西暦併記)	年齢	職業(勤務先・役職名) 就学者は学校名・学年 ※無職の場合も記載	年間収入 (税込・ 単位:千円)	同居・ 別居を ○で囲む	備考 (特記事項)	
1	本人	奨学 太郎	H19/11/12 (2007)	18才	私立奨学経済大学 経済学部国際経済工学科 1年生	300千円	別居	アルバイト収入
2	父	奨学 一徹	S44/12/12 (1969)	56才	(株)奨学商事 本社営業部営業次長	8,585千円	同居 別居	
3	母	奨学 明子	S45/8/10 (1970)	55才	(有)スーパー奨学 パート員	800千円	同居 別居	
4	兄	奨学 一郎	H12/5/21 (2000)	25才	奨学工業(株) 本社生産技術部設計課	—	同居 別居	独立(両親と別居)し別世帯である
5	妹	奨学 花子	H21/9/25 (2009)	16才	〇〇県立奨学女子高校 2年生	0千円	同居 別居	両親と同居
6	祖父	奨学 三郎	S22/6/14 (1947)	78才	無職	1,800千円	同居 別居	両親と同居 年金生活者
7	祖母	奨学 恭子	S24/1/5 (1949)	77才	無職	500千円	同居 別居	両親と同居 年金生活者
8							同居 別居	

【記入注意事項】

- この調書に記載すべき家族は、同居・別居の別なく記入すること。
※ 父母・兄弟姉妹は全て記入、父母と同居の祖父母等も記入
- 学資負担者(家計支持者)は左側番号を必ず○で囲むこと。
- 生年月日は和暦・西暦を併記すること(例) S50(1975)・・・。
- 家族状況に特記事項がある場合は、備考欄に記入すること。